

町の防災情報共有に向けた

# 提言書

令和4年3月25日  
総務常任委員会

# 目次

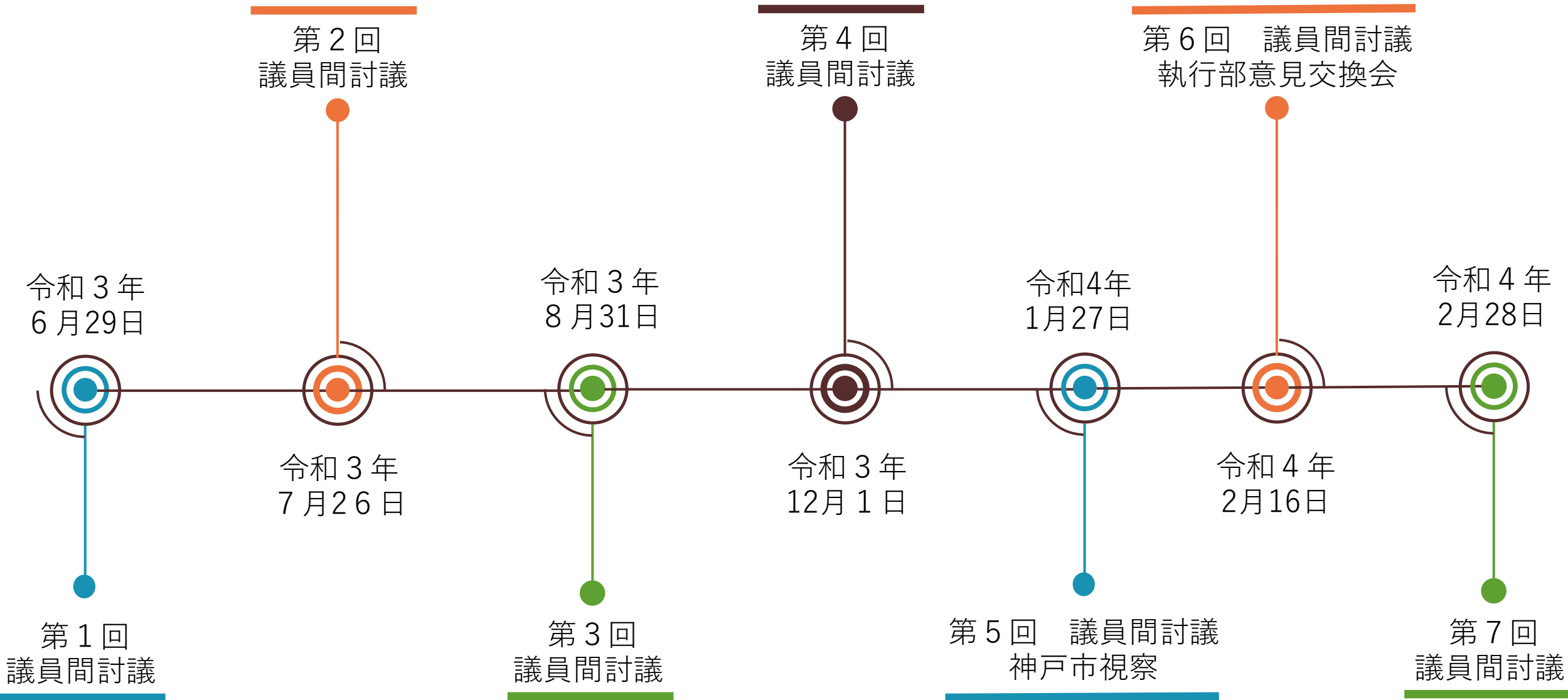
1. 寒川町の防災情報の課題	3
2. これまでの議員間討議	4
3. 先進自治体事例	6
4. 防災情報共有ツールの紹介	10
5. SOCDAについて	11
6. 神戸市とのオンライン視察	13
7. 執行部との意見交換会	18
8. 提言	21

# 1. 寒川町の防災情報の課題

## 寒川町の防災情報の課題

- 災害時の町と町民の相互の情報共有が求められている
- 情報共有するにはデジタル化が必要
- 情報のデジタル化によって、LINEの活用が可能となる
- 相互の情報が共有されることによって、自助・共助の意識啓発につながる
- 意識啓発されることで減災につながる

## 2. これまでの議員間討議



## 2. これまでの議員間討議

議員間討議 第1回～第7回

### 第1回

- 寒川町のLINEアカウントが開設
- LINEの利便性の向上やコロナ感染症に配慮した行政の簡素化を討議のテーマに
- LINEアカウントに関する先進自治体事例の調査

### 第2回

- 寒川町LINEアカウントの防災に関する討議を開始
- 情報の即応体制・プッシュ通知等、リアルタイム防災情報の精度向上の取り組みを調査

### 第3回

- 防災LINEアカウントの先進事例の情報を共有
- AIの信憑性の検証の必要性、システム導入の費用、先進自治体の視察の必要性などを討議

### 第4回

- 寒川町LINEアカウントの防災に関する課題の確認
- 課題解決に向けて、神戸市とのリモート視察、執行部との意見交換会の開催を決定

### 第5～7回

- 今までの議員間討議・神戸市とのオンライン視察・執行部との意見交換会を通して、提言書を作成

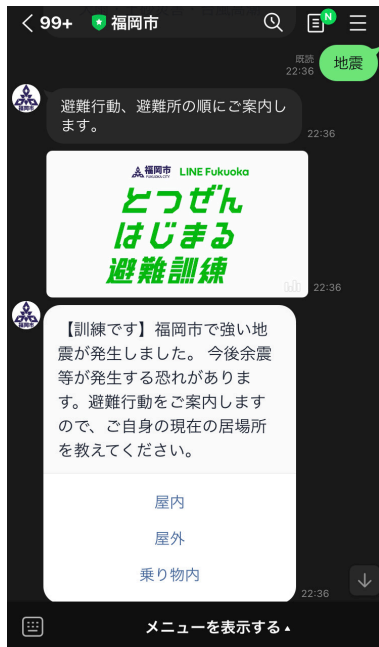
# 3. 先進自治体事例（福岡市）

## 豊富なLINEアカウントの防災に関するリッチメニュー

■位置情報から避難場所を調べる



■LINEと動画で避難訓練・災害時のデモ



■FAQ



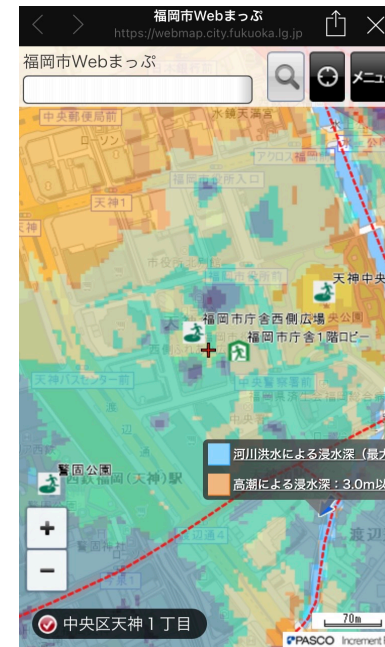
■交通・インフラ情報



■防災関連リンク集



■ハザードマップ



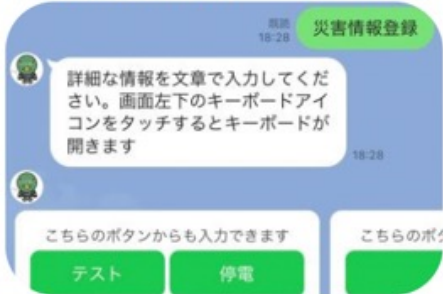


# 3. 先進自治体事例（伊丹市）

## 伊丹市防災アプリ

### 災害情報登録

周りの災害情報を送信することで、利用者間でその情報を「災害情報（地図）」で共有します。



### 避難支援(実証中)

AIチャットボットが避難情報などの情報をもとに避難誘導することで、円滑な避難を支援します。  
※現在は、民間と共同研究中であるため、(実証中)の表記中は、実際の災害では参考程度にご利用ください。



### 気象・防災情報

#### 【天気予報】

「位置情報」で登録した場所の12時間先までの天気予報をピンポイントで取得できます。

#### 【台風情報】



#### 【警報・地震情報 (PUSH配信)】

地震や気象警報等に関する災害が発生する恐れのある情報を情報ごとに、プッシュ型のメッセージ配信でお知らせします。

#### 【避難情報・避難所情報(Lアラート)】

- 避難情報  
市内の高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保に関する情報を取得できます。
- 避難所  
Lアラートと連携し、避難所開設情報を登録位置情報から近い避難所を3つ取得できます。



### 災害情報(地図)

ハザードマップ、屋外拡声器の放送内容、被害状況などの防災のホームページのリンクを掲載

### 防災情報サイト

## 避難支援・防災に特化したLINEアプリ「伊丹市防災」

- 災害情報登録
- 災害情報
- 避難支援（実証中）
- 防災情報サイト
- 気象・防災情報

# 3. 先進自治体事例（伊勢市）

## スマートスピーカー「CLOVA」



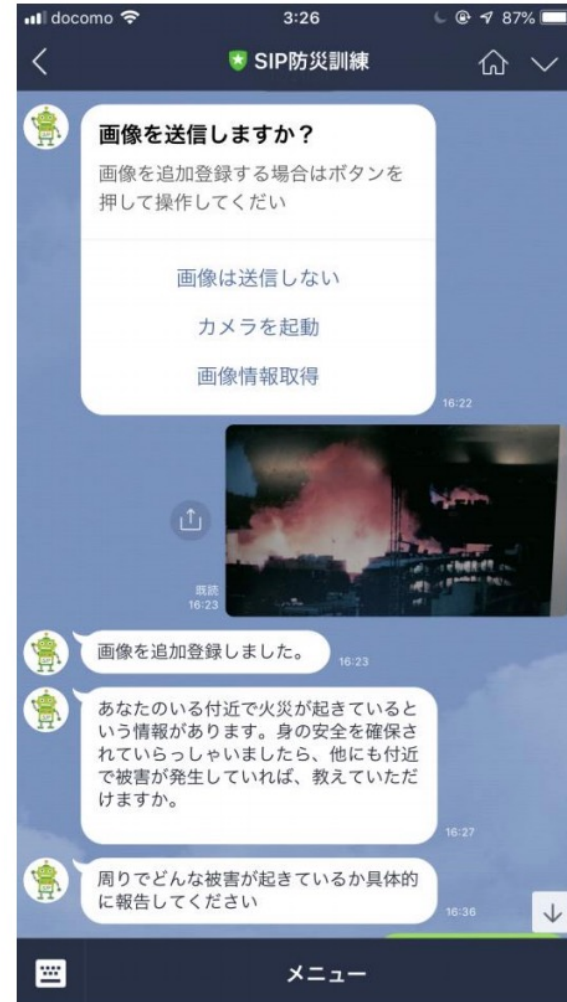
CLOVAを活用した訓練を実施（国交省、三重県、伊勢市）

- 2019年9月13日に実証実験を実施
- 行政機関からLINEを使って災害情報をプッシュ通知し、住民は自分の居住地だけでなく、家族の居住地についても受け取り
- 受け取った人が、家族に対して、家族グループLINEを使って情報共有、避難を促す（例えば都市部に住む子供が地域に住む親に避難を促す）
- 避難場所がわからない人は、CLOVAに話しかけることによって、避難所について知る（CLOVAからLINEに避難場所の地図も送付）
- 家族・知人による呼びかけが、より避難につながるのではないかという仮説の検証



# 3. 先進自治体事例（神戸市）

## チャットボットの実証実験



火事が起きています

情報ありがとうございます  
けが人はいますか？

けが人は10人程度います

位置情報を教えてください

XXXXXXXX

よろしければ、被害状況の  
写真も送って下さい

# 4. 防災情報共有ツールの紹介

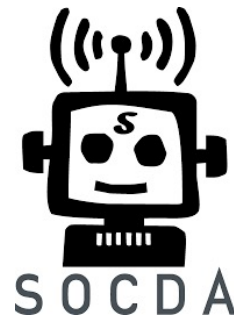
ツールの活用で可能になること

## 1. AI技術やSNS等を活用した防災・減災に向けた課題解決

- I. 即応体制を整えるために、スマートフォン等で市町村のLINE情報を得ることができる。
- II. LINEアカウントで避難支援を受けることができる。

## 2. AI技術やSNS等を活用した防災・減災に関するシステムの確立・管理

- I. AI技術を導入し、正確な災害情報をすばやく共有できるシステムを構築できる。



防災AIチャットボット  
SOCDA

# 5. SOCDAについて



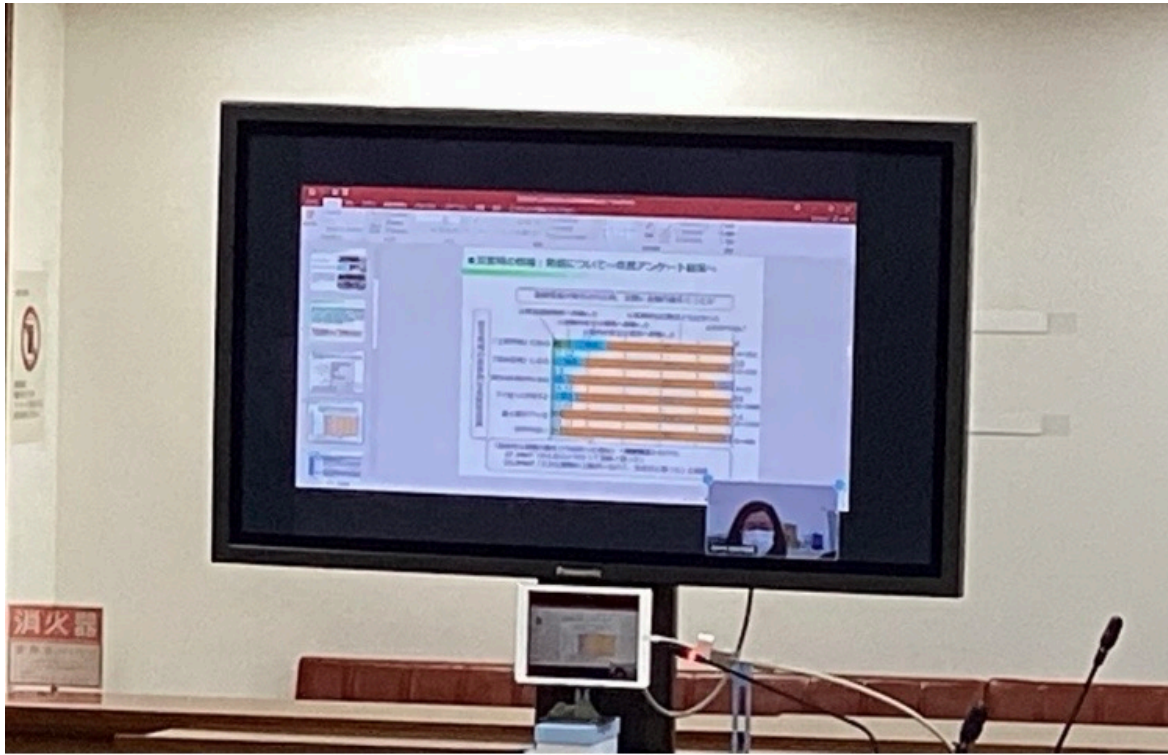
# 5. SOCDAについて

## SOCDAの機能

1. 収集した情報をもとに、災害の被害状況を把握し、状況に対して実働を含めた対応が可能となる。
2. 気象情報、被害箇所、水位、避難所混雑状況など、災害時に必要な情報の発信が可能となる。
3. 現在地、家族構成、移動に制限があるかなど考慮し、公的データを基に危険度を判断し、利用者一人一人の状況に応じた避難支援が可能となる。



## 6. 神戸市とのオンライン視察





# 6. 神戸市とのオンライン視察

## さむかわまち 寒川町

面積	13.34km <sup>2</sup>
総人口	48,550人 [編集] (推計人口、2021年12月1日)
人口密度	3,639人/km <sup>2</sup>
隣接自治体	茅ヶ崎市、藤沢市、海老名市、厚木市、平塚市

## こうべし 神戸市

面積	557.02km <sup>2</sup> (境界未定部分あり)
総人口	1,515,907人 [編集] (推計人口、2021年12月1日)
人口密度	2,721人/km <sup>2</sup>
隣接自治体	明石市、三木市、三田市、宝塚市、西宮市、芦屋市、加古郡稲美町、淡路市 (海上で隣接)



## 6. 神戸市とのオンライン視察

### 質問事項

1. 人手や労働力等のマンパワー不足をどのように解決しているのか？
2. システムを導入することで、予算はどのくらいかかるのか？
3. デジタル機器やサービスを利用したくても利用方法がわからない方へ、どのようにデジタルをつかった避難支援をしているのか？
4. 正しい情報の確認作業をしているのか？

## 6. 神戸市とのオンライン視察

### 回答

1. 消防団スマートシステムを使用している
2. AI防災協議会に加盟することで、初期費用・運用費が無料になる
3. デジタル機器を使える方向けに提供している
4. 正しい情報を提供してもらえるように、SNSや動画から発信している  
ので、悪質な情報提供がない

## 6. 神戸市とのオンライン視察

### 神戸市の視察において気づいた点

1. 消防団やサポーターからの協力によるマンパワー不足の解消が必要
2. AI防災協議会に加入すると運用費は無料になる
3. スマートスピーカーなどの音声型のデバイスの支援策を調査研究する必要がある
4. 消防団などの信頼できるユーザーからの情報提供をする仕組みが必要

# 7. 執行部との意見交換会





# 7. 執行部との意見交換会

## 意見交換会での意見

1. 検討するにあたり町が思う課題は？
2. 情報の共有が必要なので、そのためだけにまずはSOCDAの利用を
3. 職員が動かなくても、災害の全容をつかむための施策は？
4. 情報共有は必要だが、正確な情報の確認を
5. 救助要請の対応の確立ができない

# 7. 執行部との意見交換会

## 共通の見解

1. 災害時の情報共有は必要
2. SNSの活用が有効
3. 災害情報共有システムの調査研究が必要

# 8. 提言

## 提言

災害時防災情報には、町と町民の相互の情報共有が必要と考える。

防災情報の共有化には、情報のデジタル化によるSNS等の活用が不可欠であることから、災害情報共有化システム構築に向けた調査研究をすべきである。